


東海労 関西	2024年	JR東海労新幹線関西地方本部	
	9月30日	発行責任者 笹田 伸治	
	第963号	編集責任者 教 宣 部	

JR総連指導部による組織破壊のでっち上げに全面屈服を要請する 尾崎会長と伊藤副会長の行為を許さない！！

9月19日、JR東海労新幹線地本OB会の尾崎会長と伊藤副会長が地本事務所に「要請書」なる文書を持参してきました。そして今日の事態を杞憂しているかのように「従来の主張を繰り返すのではなく、低姿勢で臨むことはできないか。除名を回避するために最大限努力すべきだ。」と前置きした上で、持参した「要請書」を伊藤委員長と土川書記長に手渡しました。

組織破壊のでっち上げを認めて全面屈服を要請する「要請書」

「要請書」の内容は、「(JR総連から)指摘されている3点について(これまでの)主張を撤回し謝罪してください」という、組織破壊のでっち上げを認めて全面屈服を迫るものでした。対応した新幹線地本の伊藤委員長と土川書記長は、「今回の事態は除名ありきで進められてきた。今になって低姿勢で臨んでも何ら変わるものではない。要請書を持参したことは本部に伝えるが、本部も地本も方針はすでにはっきりしている」と「要請書」の内容をきっぱり拒否しました。

尾崎会長と伊藤副会長の行為は、組織破壊のでっち上げを擁護する行為だ！

「要請書」に書かれた「これまでの主張を撤回して謝罪してください」とは、JR東海労組合員が真摯に議論を重ねて大会決定をして職場で実践してきた方針と運動を撤回(臨大の開催)して、JR総連指導部に謝罪するように要請しているということです。言うまでもなくこれは、JR総連指導部による組織破壊のでっち上げを擁護する行為であり、JS労の結成を認めないということであり、東海労の方針と運動を否定する行為(組織破壊行為)です。

南波事務長の行為は組織の分断と混乱を誘導する行為だ！

新幹線地本OB会の尾崎会長と伊藤副会長が新幹線地本に「要請書」を出す他方で、南波事務長は、一部のOB会員にメールと「怪文書」を送っています。送られたメールの要旨は「関西が問題を起こしているのだから、本部が関西に対して制裁を課すべき」「本部が関西を擁護するため東海労全体が制裁の対象になった」「新幹線地本の組合員は全く関係ないことで除名になった」というものです。そして同時に参考資料として組合員の小林昇さんが作成した「東海労よ、解散せよ！！」という文書や「混乱・破壊行為は関西地本が仕組んだ！」「関西の暴走に追従するだけの本部執行部！」などという「怪文書」を送っているのです。

新幹線地本OB会の尾崎会長と伊藤副会長と南波事務長がJR東海労の方針を支持しない＝撤回・謝罪を要請する行為はOB会員足りえません。

東海労本部OB会は新幹線地本OB会をしっかりと指導すべきです。

私たちはこれからも、様々な嫌がらせに屈せず、
職場の仲間と権利と利益を守るために奮闘します！！